

2017年 医学部 第2問

教育 通ずるなと共通

増田

2 空間内の3点 A, B, C を頂点とする $\triangle ABC$ を考える. 2辺 BC, AC の中点をそれぞれ M, N とし, 中線 AM と BN の交点を G とする. 以下の問いに答えよ.

- (1) \vec{AG} を, \vec{AB} と \vec{AC} を用いて表せ.
 (2) 2点 P, Q が $\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC} = \vec{PQ}$ を満たすとき, 3点 P, Q, G は同一直線上にあることを示せ.
 (3) $\triangle ABC$ の頂点の座標が A(0, 0, 1), B(7, 0, 6), C(2, 12, 5) であるとき, xy 平面上を動く点 P(x, y, 0) を考える. このとき, $|\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}|$ の最小値とそのときの P の座標を求めよ.
 (4) (3) において, 特に点 P(x, y, 0) が, xy 平面上的円 $x^2 + y^2 = 1$ の周上を動くものとする. $|\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}|$ の最大値とそのときの P の座標, および最小値とそのときの P の座標を, それぞれ求めよ.

(1) 点 G は 中線の交点なので, 重心となり,

$$\vec{AG} = \frac{\vec{AB} + \vec{AC}}{3} \quad \#$$

(2) 点 G は $\triangle ABC$ の重心なので, 任意の点 P に対して

$$\vec{PG} = \frac{\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}}{3}$$

$$\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC} = 3\vec{PG} = \vec{PQ}$$

\vec{PG} と \vec{PQ} が実数倍の関係にあるので, 3点 P, Q, G は同一直線上にある. \square

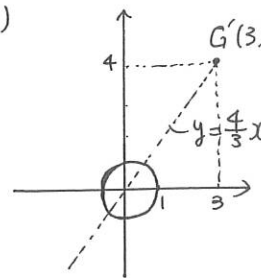
(3) $|\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}| = |3\vec{PG}|$

$$G \text{ の座標は } G \left(\frac{0+7+2}{3}, \frac{0+0+12}{3}, \frac{1+6+5}{3} \right) = (3, 4, 4)$$

点 (3, 4, 4) と xy 平面上的点 P のキョリの最小は, xy 平面に下ろした垂線との交点であり, 最小値は $4 \times 3 = 12$ $\#$

また, 点 P(3, 4, 0) $\#$

(4)



$|\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}| = |3\vec{PG}|$ が最大・最小となるのは, 点 G を xy 平面に下ろした点 G(3, 4, 0) と円 $x^2 + y^2 = 1$ のキョリの最大・最小を考慮して

最小は $y = \frac{4}{3}x$ と円 $x^2 + y^2 = 1$ の第一象限の交点に P があるとき

$$P\left(\frac{3}{5}, \frac{4}{5}, 0\right) \text{ のとき 最小値 } |3\vec{PG}| = 12\sqrt{2}$$

最大は $y = \frac{4}{3}x$ と円 $x^2 + y^2 = 1$ の第三象限の交点に P があるとき

$$P\left(-\frac{3}{5}, -\frac{4}{5}, 0\right) \text{ のとき}$$

$$\text{最大値 } |3\vec{PG}| = 6\sqrt{13} \quad \#$$